

平成25年第1回(2月)掛川市議会定例会  
一般質問発言順序

- |   |     |       |
|---|-----|-------|
| 1 | 12番 | 雑賀祥宣君 |
| 2 | 2番  | 山本行男君 |
| 3 | 13番 | 大庭博雄君 |
| 4 | 6番  | 栞原通泰君 |
| 5 | 8番  | 柴田正美君 |
| 6 | 14番 | 山崎恵司君 |
| 7 | 5番  | 中上禮一君 |
| 8 | 10番 | 川瀬守弘君 |
| 9 | 23番 | 佐藤博俊君 |

平成25年第1回(2月)掛川市議会定例会  
一般質問発言順序(予定)

---

3/11 AM 12番 雑賀祥宣君

2番 山本行男君

---

PM 13番 大庭博雄君

6番 栞原通泰君

8番 柴田正美君

---

3/12 AM 14番 山崎恵司君

5番 中上禮一君

---

PM 10番 川瀬守弘君

23番 佐藤博俊君

## 一般質問通告要旨

議席番号	12	氏名	雑賀祥宣	質問の方式	(一問一答)・一括
------	----	----	------	-------	-----------

### 1 教育的指導と体罰・いじめについて (答弁：市長・教育長)

- (1) 「おこる」と「しかる」の違いについてと、「いじめ」についての見解を
- (2) 教育的指導の中で発せられる荒い言動や行動の境界線はどのように考えるか
- (3) 学校教育の中での授業やクラブ活動での「体罰」や「暴言」に対する報告はあるか。また保護者等のモンスターペアレント的な言動の報告はあったか。あった場合には、教職員に対してどのようなアドバイスをしていくか
- (4) 社会教育、社会体育の現場であるスポーツ少年団活動やスポーツ教室での事例報告はあったか
- (5) 各種団体の指導者が指導の方法に対して不安になっているが、その対策は考えているか。母集団研修会や指導者講習会等も開催されているが、行政としての支援はいかがか

### 2 掛川球場整備基金について (答弁：市長・教育長)

- (1) 掛川球場の整備計画は、その後どうなったか
- (2) 平成23年度決算での掛川球場整備基金は、1億288万4,275円であると思うが、その後の募金等の状況に変動はあるか。また、各種の事業に対しての募金活動があると思うが、球場整備基金の募金活動の見通しはどうか。一般会計からの積み増しは考えられるか
- (3) 隣接の市に呼びかけて、協力して「エコパ」に県営の球場を誘致する考えはどうか。県の東部には、あしたか球場、中部には改修中の草薙球場があるが、西部にはない

### 3 下小笠川廃川敷の今後の整備計画について (答弁：市長)

- (1) 土地利用を考える会等でいろいろと検討され地域要望も提出されているが、今後の整備見通しはどのように考えているか。また、県道相良・大須賀線にかかる新川橋について県と協議されているか
- (2) 災害に対しての命山等の要望があるが、残土の利活用についてどのように考えているか

## 一般質問通告要旨

議席番号	2	氏名	山本行男	質問の方式	(一問一答)・一括
------	---	----	------	-------	-----------

### 1 施政方針の防災・減災について伺う (答弁：市長)

- (1) 南海トラフの巨大地震に関する津波高、浸水域、被害想定が内閣府より昨年公表されたが市長の所見を伺う
- (2) 施政方針の中で特に津波対策について、重点施策と位置づけ、各種の施策を実施してきたと述べたが具体的な施策とは何か
- (3) 避難タワーを議会では、5基を作りたいと報告があったが3基にしたのはなぜか
- (4) 市の津波対策で沿岸部住民の不安解消は得られると思うか伺う

### 2 橋梁長寿命化修繕計画について伺う (答弁：市長)

- (1) 自公政権になり命を守る公共インフラ事業が安倍政権の大きなテーマとなっているが、市長の所見を伺う
- (2) 市内にある重要な99の橋梁のインフラ整備の進捗状況を伺う

### 3 軽度・中等度難聴児への補聴器購入に対する助成制度について伺う (答弁：市長)

- (1) 身体障害者手帳の交付対象外である軽度・中等度難聴児には公的助成制度はないが、近年こうした難聴児への助成制度の導入が全国的に広がっている。静岡県が実施した場合、本市においても助成制度を行う考えがあるか伺う

## 一般質問通告要旨

議席番号	13	氏名	大庭博雄	質問の方式	(一問一答)・一括
------	----	----	------	-------	-----------

### 1 市政経営について

(答弁：市長)

(1) 掛川市の「住みよさランキング（東洋経済新報社）」は、平成17年全国 141位（県 7位）、平成20年 128位（県 5位）、平成24年 102位（県 4位）と評価が向上している。市民としてうれしく、誇りを感じている

- ① この要因は何か
- ② 市長としてどのように感じているか

(2) 市政運営の経営資源として人・もの・金が効率的にマネジメントされたかについて伺う

- ① 人（職員）の数・質はどのように評価しているか
- ② もの（インフラ整備・システム構築・サービス等）はどうであったか
- ③ 金（予算・市債等）はどのように評価するか

(3) 今後、市政をどのように進めていくか、目標・指標・思い等を伺う

### 2 地域の重要課題について

(答弁：市長・教育長)

(1) 新病院周辺のまちづくりについて

中東遠総合医療センター周辺のまちづくりについて、市としてどのように進めていくか

(2) 掛川駅梅橋線は早期全線開通すべきである

都市計画道路・掛川駅梅橋線の高御所工区の工事が始まろうとしている。引き続き領家工区を進めるべきと考えるが、市長の考えを伺う

(3) 大雨の時、和光橋の水位上昇が不安である

逆川・和光橋の水位計はたびたび警戒水位を超えるため、周辺住民は不安を感じている。水位計のレベルの的確性、川の排水能力等確かな検証をして住民に安全・安心を保証すべきと考えるが、市長の考えを伺う

(4) 綱川交差点周辺整備について

旧国一の綱川交差点はヤマハ株式会社掛川工場の周辺道路でもあり、交通安全対策が進められているが進行が遅い。進行を早めるべきと考えるが、見解を伺う

(5) 幼稚園には全員を入園させるべき

曾我幼稚園は平成20年に廃園になり、地区の幼児は「子育てセンターさやのもり幼稚園部」に入園できることになっているが、定員超過のため入園を希望するが入園できない幼児が相当おり、今後もこの傾向が強くなると予測する。

対応策を考えるべきと思うが見解を伺う

(6) 松並木の保存について

原川地区の旧国一にある松並木は美しい遺産であるが、平成23年 9月の台風で約10本倒壊した。交通安全を確保し、保存策を講ずるべきと考えるが、見解を伺う

## 一般質問通告要旨

議席番号	6	氏名	栗原通泰	質問の方式	(一問一答)・一括
------	---	----	------	-------	-----------

### 1 中学校区学園化構想について伺う

(答弁：教育長)

- (1) なぜ今、学園化構想なのか。社会的教育的背景が構想となっているのか伺う
- (2) 当市 9中学校区の中で城東中学区が選定された理由は何か伺う
- (3) 学園化を図るための組織体は、どのように考えているのか。また、その組織体の役割と責務は何か伺う
- (4) 学園化内の組織体制の基本は、どのように考えているのか伺う
- (5) 9地区学園化実現後の横断的な連携は、どのように考えているのか伺う
- (6) 学園化内の幼小中の教職員の連携は、どのように考えているのか伺う
- (7) 学園化構想に対する保護者への理解を求める取り組みや地域組織、団体への理解と協力支援を求める取り組みは、どのように考えているのか伺う
- (8) 郊外に立地する学園の利点と課題、そして市街地にある学園の利点と課題は何かあるのか伺う
- (9) 学園化内の人事交流は考えているのか伺う
- (10) 教育委員会と学園化運営組織との関わりをどのように持とうとしているのか伺う
- (11) 各地区学園化を推進するため単位学園の財政的裏づけと支援は、どのように考えているのか伺う
- (12) 現在設置されている幼稚園、小中学校評議委員会制度と学園化の組織体との関係はどのようになるのか伺う
- (13) 学園化による青少年健全育成会の組織変動はあるのか伺う
- (14) 9地区の学園化設置発足時期の目標は持っているのか伺う

### 2 行政として茶草場の保護活動と観光資源としての支援策について伺う

(答弁：市長)

- (1) 現時点、世界農業遺産認定の可能性について伺う
- (2) 世界遺産の認定にかかわらず「茶草場」としての保護活動が必要と思うが、その支援策をどのように考えているのか伺う
- (3) 茶草場には希少植物や多様な生物が生息している。その保護すべき対象動植物の種類や生息数など、調査しているのか伺う
- (4) 今年 5月に認定された場合、新たな観光資源となるが、どのように生かすのか伺う
- (5) 茶草場で生育したお茶のブランド化が当面の課題であると思うが、そのブラ

ンド製品化の推進と販路拡大を目的に 4市 1町の連携と取り組みは、どのように考えているのか伺う



## 一般質問通告要旨

議席番号	8	氏名	柴田正美	質問の方式	(一問一答)・一括
------	---	----	------	-------	-----------

### 1 市長の政治姿勢について (答弁：市長)

- (1) 市長は保安院の裁定による浜岡原発 5号機の再起動に賛成した。反省するの  
か否か伺う
- (2) 原発事故が発生した場合の住民避難、何が問題か市長の認識を伺う
- (3) 本年 3月18日までに策定する地域防災計画（原子力対策編）の問題点につい  
て市長の見解を伺う
- (4) 福島事故の検証が不十分な中で、原子力規制委員会が示した新しい安全  
基準は、時期尚早ではないか。市長の見解を伺う
- (5) 核燃料サイクルについて、継続か廃止か市長の見解を伺う
- (6) 前回提起した「残余のリスク」があっても稼働を容認するのを含め、浜岡  
原発の 100%の安全性と永久停止・廃炉に対する市長の見解を伺う
- (7) 「住民の理解が必要」と答弁し続けているが、「浜岡原発再稼働」の是非を  
問う住民投票、その時には市長として提起するつもりか伺う
- (8) TPPについて賛成か反対か市長の認識を伺う

### 2 ごみ分別方法の統一と有料化について (答弁：市長)

- (1) 市長施政方針で統一と有料化について研究、検討を表明したが、現時点での  
市長のこの問題への見解を伺う

### 3 都市計画税の見直しについて (答弁：市長)

- (1) 都市計画税の課税見直しの結果、全面積に対する課税面積の割合は、旧掛川  
市当時の70.9%から現在は何%になっているのか伺う
- (2) 都市計画税は、目的税であるので、都市計画事業や区画整理事業、市街地再  
開発事業のないところ、受益がないところに課税すべきでないのではないか見  
解を伺う
- (3) 「都市計画区域」は「総合的に整備し、開発をし、そして保全する区域」で  
ある。線引自治体は開発区域を「市街化区域」、保全区域を「市街化調整区域」  
として区分する。非線引自治体でも当然保全する区域があると総務省も認めた。  
現状維持のところへの課税は、間違いではないか。見解を伺う
- (4) 全部に課税できる場合と一部にしか課税できない場合、それぞれどのような

場合か課税基準を市民がわかるように示すべきである。見解を伺う

- (5) 市長は最近「都市計画事業を他の事業で類似対応している。あるいは、他の税で補填しているからご理解を」と答弁。しかし、こうした対応では課税根拠にはならない。見解を伺う
- (6) 国土交通省の「都市計画運用指針」で、「用途地域は都市施設を定め」「用途地域外においては当該地域の市街化の促進につながるような都市施設を都市計画に定めることは望ましくない」とある。抑制する地域に同じ課税では、理屈が通らないのでは。見解を伺う
- (7) 都市計画法第13条第11号では「区域区分されていない都市計画区域には少なくとも道路、公園、下水道を定める」とうたっている。ところが、国土交通省の都市計画運用指針では「用途地域外」について、「市街地化の促進につながる都市施設を定めることは望ましくない」としている。矛盾しているのではないか。見解を伺う
- (8) 課税は、公平性が何より重視される必要がある。不適切な事例を担当課長に指摘したが、過半の自治区に都市計画事業なしも同様ではないか、見解を伺う
- (9) 辺地について、平成21年6月議会は「より受益がある」また「受益は全体にわたる」と答弁。平成22年12月、税務課資料と議会の答弁では「全く受益がないから見直す」180度違う。見解を伺う
- (10) 「都市計画税の使途」で下水道事業8億7,878万円の内、92%が元利償還であることを前議会で指摘した。今後表示を見直す考えはないか伺う
- (11) 見直し懇話会、三橋委員長が「受益がないところは他にもあるから引き続き検討し説明責任を全うせよ」と述べた。これは答申にも書かれている。今後も不断に見直しを考えるのか、それとももう見直しを一切しないのか伺う

## 一般質問通告要旨

議席番号	14	氏名	山崎 恵司	質問の方式	(一問一答)・一括
------	----	----	-------	-------	-----------

### 1 障がい者の学校就学に対する受け入れ体制について伺う

(答弁：市長・教育長)

- (1) 学校のバリアフリー化はどこまで進んでいるのか
- (2) 障がい者の普通学級入学にどのように対応していくのか。和田岡地区で車椅子の子どもが入学を希望しているがどのように対応したのか
- (3) 学校のユニバーサルデザインの必要性を伺う

### 2 道路問題について伺う

(答弁：市長)

- (1) 掛川西環状線について、将来、中東遠総合医療センターへの重要なアクセス道路になると思うが、国道一号線梅橋から新東名森掛川インターへの接続の進捗を伺う
- (2) 桜木中横断線について、北環状線の今後の進捗をどのように考え進めて行くのか伺う
- (3) 天竜浜名湖鉄道が一番危険な富部踏切の改良予定について伺う。また、和田岡地区道路問題検討委員会で改良案が出されているが、検討の結果について伺う
- (4) 各地区から出されている歩道整備の要望に対する市の対応について伺う
- (5) 県道掛川山梨線の歩道整備について伺う

## 一般質問通告要旨

議席番号	5	氏名	中 上 禮 一	質問の方式 (一問一答・一括)
------	---	----	---------	-----------------

### 1 障がい者の就業支援について伺う (答弁：市長)

- (1) 市役所や市内企業における現在の障がい者の雇用率はどのような状況か。  
また、障がい者の法定雇用率が 1.8%から 2.0%に引き上げられるが、企業等に障がい者の雇用促進についてどのような働きかけや対応をするのか
- (2) (仮称) 希望の丘に、県立特別支援学校が平成27年に開校される予定であるが、全国のモデルとなるような学校にするために、医療福祉ゾーンだからこそできる取り組みが必要と思うがいかがか
- (3) 県立特別支援学校卒業後における障がい者の雇用促進を図るためには、職業教育など県と一体となって進めることが必要と思うがいかがか

### 2 生涯学習のまち掛川の図書館の運営について伺う (答弁：教育長)

- (1) 生涯学習のまちとしての市立図書館の役割としてどのような業務があるのか
- (2) 学園化構想の中で教育の協働として、家庭、幼稚園・保育園・小中学校への支援としてどのようなことがあるのか
- (3) 現在、掛川市には戦時中の郷土資料など地域資料が少ないと聞いている。学校における郷土学習には重要と思うが収集する考えは

### 3 人づくり構想かけがわに挙げられている事業の成果と課題について伺う (答弁：教育長)

- (1) 地域ボランティアやその道のプロを活用した教育活動の展開がうたわれている。大学生、退職職員、地域ボランティア活動では、具体的にどのような取り組みが行われているのか
- (2) 「報徳について、掛川らしさ」ということがうたわれているが、掛川らしさとしてどのような取り組みがなされているのか

## 一般質問通告要旨

議席番号	10	氏名	川瀬守弘	質問の方式	(一問一答)・一括
------	----	----	------	-------	-----------

### 1 生活保護基準引き下げについて (答弁：市長)

- (1) 生活保護受給者に「働けるのに働こうとしない、怠け者だ」とのマスコミ報道がされている。生活保護制度は誰にも恥じることのない権利だが、「生活保護利用者」をどのように受けとめているか
- (2) 昨年、「社会保障制度改革推進法」が成立、附則の中に「生活保護制度の見直し」が掲げられ「生活扶助、医療扶助等給付水準の適正化」を明記している。生活保護基準を引き下げればどのような影響があるか

### 2 学童保育所の充実について (答弁：市長)

- (1) 子どもたちが安心して放課後の生活が送れるような施設整備と充実した保育を保障する「学童保育ガイドライン」制定の考えは
- (2) 高学年児童の入所、兄弟の減免、経済的な理由の減免、土曜・長期休暇保育など保護者の願いに沿った「学童保育」が求められているが、その実施の考えはあるか伺う
- (3) 専門的力量を持つ指導員の安定的な雇用、待遇改善、社会的地位の確立が必要と考えるが、市長の所見は

### 3 TPP交渉参加について (答弁：市長)

TPPは、日本が「聖域」にしてきた重要品目をゼロ関税にすることだけをとっても、金銭補償などの「条件」で何とか相殺できるレベルの協定ではない。一たび受け入れてしまえば、取り返しがつかない国民全体の大問題である

- (1) TPPはすべての関税撤廃が原則。すべての関税自主権を失うことになるが市長の見解は
- (2) TPPに参加し、関税を撤廃すると、日本の食料自給率は13%に。米は9割、牛肉、豚肉は7割以上の減産になる。異常に低い日本の食料自給率をさらに3分の1に激減させるTPP参加は、「亡国の政治では」と思うが、市長の見解は
- (3) 非関税障壁撤廃で、食品の安全のための規制も緩和。日本の公的保険・国民皆保険制度もアメリカの市場開放の妨げとして攻撃されている。市長の見解は

(4) TPPへの参加は、地域経済と中小企業に大きな被害を与える。農業と関連産業への影響は、約 8兆円、雇用の減少は 340万人に上る（農水省試算）。市長の見解は

## 一般質問通告要旨

議席番号	23	氏名	佐藤博俊	質問の方式	(一問一答)・一括
------	----	----	------	-------	-----------

### 1 海、山、街道がつながる基盤政策について (答弁：市長)

#### (1) 南北道、東西環状線の規格と完成目標について伺う

合併推進道路の南北道進捗と特に道路規格が不満である。今の状況では南部企業（特に誘致された）の繁栄に不安を感じ、その上津波、放射能（風評被害）予想で南部の疲弊は著しい

東環状線の整備は、新エコポリス第1期、第2期の企業にとって、また今後計画予定の新エコポリス第3期への企業誘致に必要である。今、工場進出の基本は高速道路ICより10分以内である事が条件です、また西環状線は、新東名森掛川インターへのアクセスであり、急ぐべき

#### (2) 東名掛川インター、新東名森掛川インターの利活用状況と今後の計画について伺う

高速道路との結びつき次第で、各企業の繁栄に大きく響く、また観光客導入のポイントでもある

#### (3) 新幹線乗降客25年の歩みと将来プランについて伺う

新幹線駅の乗降客数＝掛川市盛衰のバロメータと考えるべき

### 2 中心市街地活性化と住宅政策について (答弁：市長)

高齢化が著しい中心市街地、シャッター街化する中心市街地、益々衰退していく姿、残念である

#### (1) 東街区再開発計画は、誤りと思うが見直す考えはないか伺う

新幹線駅は、人の流入と流出に利便である。衣料品等流行色の強い商品は静岡・浜松へ、また通販時代を充分理解し、商店よりまず住宅政策に転換すべし

#### (2) 駅前に高層マンションを推進し中心市街地の人口増を図るべきと思うが、市長の見解を伺う

上記判断できれば、結論はマンション推進のはず

#### (3) 市保有地活用方法に疑問を感じている。保有地の大半（市街地）は駐車場であるが、マンション化で税収アップを考えるべきと思うが市長の見解は

### 3 市営住宅管理条例について (答弁：市長)

#### (1) 入居ルールは誤りと思う。入居方法の改善について伺う

- ・申し込みが年 4回であるが、常時受付すべきである
  - ・申し込みから入居までの期間短縮
  - ・より希望住宅への入居ができるように
  - ・抽選制度から申し込み順制度に変更できないか
  - ・申し込みから入居までの手間の簡素化
- (2) 独身（単身者家族）者入居を認めるべきと思うが、見解は
- (3) 約 130戸の空戸数がある。その対策について伺う

#### 4 南部（海岸線）の活性化について

（答弁：市長）

- (1) 津波、原発の風評被害についての市長の見解を伺う
- (2) ウィンドサーファーを観光交流人口に算入し、観光客として対応すべきと思うが見解を伺う
- (3) 南部一帯の資源（三熊野神社・三社囃子・ちっちゃな文化展・高天神城・砂の祭典・温泉とその周辺施設等）を掘り起こし、活性化に結びつけるべきと思うが、市長の見解を伺う